

2020年 4月5日(日)

2020年 4月4日(土)

ふらんど

ふと通りかかった公園で、子どもたちがブランコで遊んでいるのを見掛けると、微笑ましさと懐かしさに、自然と顔がほころんでしまうものです。

実は「ブランコ」は、俳句では春の季語になります。一年中あるものなのにどうして春なのでしょう。

もともと中国では鞦韆と呼ばれ、冬至から105日目の「寒食の日」に宫廷の女性たちが乗って遊んだといわれており、そこから春の遊びとして歳時記に加えられたようです。

「鞦韆」「ゆさはり」「ふらっこ」「ふらんど」「半仙戯」。これらは全てブランコのことです。半仙戯とは、半分仙人の気分になる遊びという意味で、仙人のように空を飛ぶ気分を味わえるブランコは、昔の人にとって、特別の遊びであつたのかもしれません。

「ふらんどや桜の花をもちながら」

ほのぼのとした作風で知られる江戸時代の俳人、小林一茶の句です。大人も時には童心に帰り、空中散歩を楽しんでみてはいかがでしょう。数センチでも地表を離れることで、新鮮な感動があるかもしれません。

今日の言葉 子ども心を忘れずに

一本桜

お花見シーズン真っ盛り、全国各地にある桜の名所は、多くの人でぎわっています。

奈良県の吉野山には約3万本、埼玉県の狭山湖には約2万本の桜の木があるそうです。視界いっぱいに花が咲き乱れる風景は、まさに圧巻といえるでしょう。

その一方で、長い歳月を生き抜いた堂々たる「一本桜」もまた味わいのあるものです。

全国には、数多くの一本桜がありますが、なかでも有名なのが、山梨県の山高神代桜です。樹齢は二千年ともいわれ、日本で最古の巨木として、国の天然記念物に指定されています。

ヤマトタケルノミコトが東征の折に植えたと伝えられており、その名の通り、神代から生き続ける桜です。長い年月を経て、どつしり伸びた幹と見事な枝ぶりは、若い木にはない風格を感じさせます。

時代を超えて咲き誇る、一本桜のある姿は、この時期にしか見られない美しさです。

今日の言葉 歳月を重ねた生命に敬意を

今日の気づき

コメント

今日の気づき

コメント

小林一茶 宝暦13～文政10年(1763～1827年)信濃国柏原村(現・長野県上水内郡)生まれ。俳人。数奇な生涯、強靭な農民的性格、率直で飄逸な性格が、作品に独特の人間臭さを与えている。代表作に『七番日記』『父の終焉日記』『おらが春』など。

2020年4月27日(月)

荒起こし

春は、農作業が忙しくなる時期です。田んぼでは、冬の間に固くなつた土を掘り起こす「荒起こし」が行われます。また、畑では種をまく前の草取りが行われます。

どちらも地道で手間がかかりますが、作物を育てる土壤を作るために必要な作業です。

この時期の作業が収穫の結果を左右します。質の高い作物をつくるために、欠くことのできない手間なのです。

新社会人にとって、入社1年目は、同じように土壌作りの時期といえます。仕事を覚えたり、必要な知識やマナーを身に付けたりするなど、ビジネスの基礎を築く努力が求められます。

進んで多くのことを学び、経験しておきましょう。この時期に頑張ったことが、2年目3年目に結果となつて表れます。

丹念に耕した田んぼに豊かな実りがあるように、人も努力すればするほど、実力が向上するのです。未来のために努力するのは、もちろん、新人だけではなく、ベテラン社員にも当てはまります。

土用

今日の言葉 基礎をしつかり身に付けましょう

教えてもらえませんか

目の不自由なCさんは、ある日、駅のホームで次のように声を掛けられました。

「何かお手伝いできることはありますか。僕はどうすればいいのかわからな
いので、教えてもらえませんか」

その日は重い荷物を持っていたので、その男性に持つてもらい、タクシー乗り場まで案内してもらいました。

Cさんはその対応に感動し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これまで、「大丈夫ですか」と声を掛けてもらうことはよくありましたが、そう聞かれると反射的に「大丈夫です」と答えてしまい、手助けを頼めない場合も多かつたのです。

男性は、Cさんが遠慮しないですむよう、「教えてもらえませんか」という言葉を選んだのでしょうか。

困っている人を手伝うときには、相手を気遣う一言を、付け加えられるようになりたいものです。誰もが暮らしやすい社会を築くために、普段から心掛けたいことです。

今日の言葉 手と心を差し伸べましょう

2020年4月16日(木)

今日の気づき

コメント

コメント